

エコ1チャレンジカップ 2026

**～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～
未来へ続くスマートドライブ**

実 施 要 項

**自動車技術会 関東支部
東京都市大学
日産自動車株式会社**

実施概要

●大会名称

エコ1チャレンジカップ 2026 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

●開催趣旨

1. ものづくりの楽しさと重要性の認識
2. 環境とエネルギー問題の認識と体験
3. 創造性に富む人材の育成

●大会テーマ

未来へ続くスマートドライブ

●共催

公益社団法人自動車技術会 関東支部
東京都市大学、日産自動車株式会社

●後援

文部科学省、公益社団法人日本材料学会、
一般社団法人日本機械学会、一般社団法人電気学会

●協賛（予定）

東急自動車学校、株式会社東京アールアンドデー、日野自動車株式会社、株式会社ピューズ、東京都市大学 校友会

●開催期日

2026 年 8 月 22 日（土）

●開催場所

東京都多摩市唐木田 3 丁目 6 東急自動車学校（四輪教習コース）

●競技概要

バッテリーの電気エネルギーを効率的に活用し、自動車の基本性能である「走る・曲がる・止まる」を競いながら、エネルギーの尊さと技術の重要性を楽しみながら体験する。この競技は与えられたエネルギーを自動車の基本性能を満足させながら、いかに効率よく走行するかを競うもので、創意工夫、知的挑戦である。

●競技車両

3 輪以上で停止時に自立する構造とし、市販車両の無改造による出場は認めない。
※市販車両のモーターなどの部品の流用は認める。

●参加資格

原則として中学生及び高校生のチーム。
未成年チームの場合は責任者として教員あるいは保護者の指導を要する。

●応募・登録期間、エントリーフィー

- 応募締切り
2026 年 5 月 29 日（金）まで。
- 登録締切り
2026 年 7 月 3 日（金）まで。
- エントリーフィー
1 団体（出走 1 台）につき ￥20,000

2026 年 7 月 3 日（金）までにイベントペイを通して決済をお願いいたします。支払い用 URL については、参加が確定したチームへ後日ご案内いたします。なお、原則として、決済後はキャンセルのお申し出がありましても返金できませんのでご注意ください。



共催者問い合わせ先

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1
エコ1チャレンジカップ実行委員会事務局 杉町（東京都市大学 理工学部 機械工学科）
TEL 03-5707-0104(内線:2619) Email: eco1chal@tcu.ac.jp

大会役員・実行委員

■大会役員

会 長	本 田 敬	自動車技術会関東支部 支部長
副会長	野 城 智也	東京都市大学 学長
〃	平 田 禎治	日産自動車株式会社 執行役、 チーフモノづくりオフィサー
競技長	若 松 竜太	株式会社東京アールアンドデー
副競技長	千 原 健史	日産自動車株式会社

■実行委員

委員長	森 瑞樹	公益社団法人自動車技術会 関東支部
副委員長	岡 本 和男	日産自動車株式会社
副委員長	杉 町 敏之	東京都市大学 理工学部 機械工学科
委員		
〃	阿 部 和彦	公益社団法人自動車技術会 関東支部
〃	河 村 泰孝	公益社団法人自動車技術会 関東支部
〃	細 川 一真	公益社団法人自動車技術会 関東支部
〃	白 木 尚人	東京都市大学 理工学部 機械工学科
〃	伊 東 明美	東京都市大学 理工学部 機械工学科
〃	矢 作 修一	東京都市大学 理工学部 機械工学科
〃	森 光 康隆	東京都市大学 理工学部 機械システム工学科
〃	秋 元 聡	東京都市大学 ものづくり支援センター
〃	中 野 秀洋	東京都市大学 情報工学部 情報科学科
〃	藤 田 祐治	東京都市大学 情報工学部 知能情報工学科
〃	岡 誠	東京都市大学 情報工学部 知能情報工学科
〃	薩 川 宣昭	東京都市大学 情報工学部 知能情報工学科

タイムスケジュール(8月22日)

当日は9時に開門し、車検に合格したチームを対象として競技を実施します。11:15から競技本部受付付近で開会式を行います。開会式の後、代表者とドライバーに対してドライバーズミーティングを行います。フリー走行については、車検合格後に行うことができます。フリー走行は、コースがクローズされるまでの時間内であれば周回数に制限はありません。表彰式は、当日の15:15より建屋の1階(最終ページの「施設等のご案内」を参照ください)にて行います。会場のクローズは16:30となりますのでご注意ください。

タイムスケジュール※

時間	内容	
9:00	開 門	
9:30	車 検 9 : 30～ 11 : 15	フリー走行
10:00		
10:30		
11:00	開会式 11:15～ / ドライバーズMTG	
11:30	競 技 11 : 30～ 14 : 00	
12:00		
12:30		
13:00		
13:30	技術交流会 14 ; 00～ 15 : 15	
14:00		
14:30		
15:00	表彰式 15:15～	
15:30		
16:30	閉門	

※当日の状況により変更する可能性があります

<参加チーム>

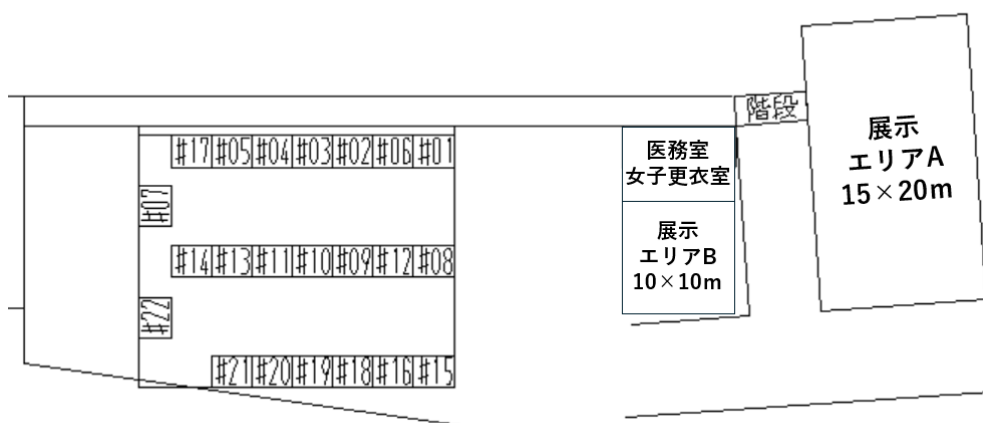
No	所属（学校名）	チー ム 名	車 名
#01	長野県松本工業高等学校	松本工業高校 原動機部 1	松工 2026 1 号
#02	豊島学院高校・昭和鉄道高校	豊昭学園電気研究部	Dyson's TYPE R
#03	東京都立多摩科学技術高等学校	多摩科技無線工作部	TS-Ten
#04	東京都立多摩科学技術高等学校	多摩科技無線工作部	TS-Sixteen
#05	和光学園和光中学校	和光中学技術部	和光電力 WW 改
#06	長野県松本工業高等学校	松本工業高校 原動機部 2	松工 2026 2 号
#07	東京都立総合工科高等学校	チーム走攻	WATANABE V-SPECⅢ
#08	東京都立八王子桑志高等学校	八王子桑志高校 自動車研究同好会	Kenick
#09	東京都市大学付属中学校・高等学校	都市大付属自動車部	ザマラーMk-3
#10	中央大学附属高等学校	中大附属高校 物理部	CFK-R8
#11	都立府中工科高等学校	府中工科自動車整備部	FT26 チキン野郎
#12	東京都立八王子桑志高等学校	八王子桑志高校 自動車研究同好会	ティコ号
#13	青山学院中等部	青山学院中等部マイコン部	走れ！メロンパン
#14	静岡雙葉高等学校	静岡雙葉 STC	ニケ
#15	ドルトン東京学園	DaltonMartin	Plover DM6
#16	東京都市大学等々力中学校・高等学校	等々力理科部技術班	TSUBASAVII
#17	和光学園和光中学校	和光中学技術部	和光電力 3 号改
#18	川崎市立川崎総合科学高等学校	川崎総合科学高校	アソパソマソ号
#19	千葉日本大学第一中学高等学校	チバニチ物理部	CNU racer
#20	土浦日本大学中等教育学校	土浦日大中等 OATA	PAPPY 号
#21	東大寺学園中・高等学校	東大寺学園自動車研究会	TEV-1'
#22	静岡雙葉中学校	静岡雙葉 JSTC	みにたいやき

パドック区割り

大会当日のパドックは次図の通りです。今年度は次図のように新たに新設された立体駐車場の1Fをパドックに利用いたします。そのため、各チームでのテントのご準備と、当日の設営は不要です。なお、1区画のサイズは、3.4 m × 2.7 mです。立体駐車場の1Fのため、2.1 mの高さ制限がありますのでご注意ください。



パドックエリア（立体駐車場の1F）の様子



1区画サイズは幅3.4m、奥行き2.7m

パドック区割り

No	学校名	チーム名	車名
#01	長野県松本工業高等学校	松本工業高校 原動機部 1	松工2026 1号
#02	豊島学院高校・昭和鉄道高校	豊昭学園電気研究部	Dyson's TYPE R
#03	東京都立多摩科学技術高等学校	多摩科技無線工作部	TS-Ten
#04	東京都立多摩科学技術高等学校	多摩科技無線工作部	TS-Sixteen
#05	和光学園和光中学校	和光中学技術部	和光電力WW改
#06	長野県松本工業高等学校	松本工業高校 原動機部 2	松工2026 2号
#07	東京都立総合工科高等学校	チーム走攻	WATANABE V-SPECⅢ
#08	東京都立八王子桑志高等学校	八王子桑志高校 自動車研究同好会	Kenick
#09	東京都市大学付属中学校・高等学校	都市大付属自動車部	ザマラーMk-3
#10	中央大学附属高等学校	中大附属高校 物理部	CFK-R8
#11	都立府中工科高等学校	府中工科自動車整備部	FT26チキン野郎
#12	東京都立八王子桑志高等学校	八王子桑志高校 自動車研究同好会	ティコ号
#13	青山学院中等部	青山学院中等部マイコン部	走れ！メロンパン
#14	静岡雙葉高等学校	静岡雙葉STC	ニケ
#15	ドルトン東京学園	DaltonMartin	Plover DM6
#16	東京都市大学等々力中学校・高等学校	等々力理科部技術班	TSUBASAⅦ
#17	和光学園和光中学校	和光中学技術部	和光電力3号改
#18	川崎市立川崎総合科学高等学校	川崎総合科学高校	アソパソマソ号
#19	千葉日本大学第一中学高等学校	チバニテ物理部	CNU racer
#20	土浦日本大学中等教育学校	土浦日大中等 OATA	PAPPY号
#21	東大寺学園中・高等学校	東大寺学園自動車研究会	TEV-1'
#22	静岡雙葉中学校	静岡雙葉JSTC	みにたいやき

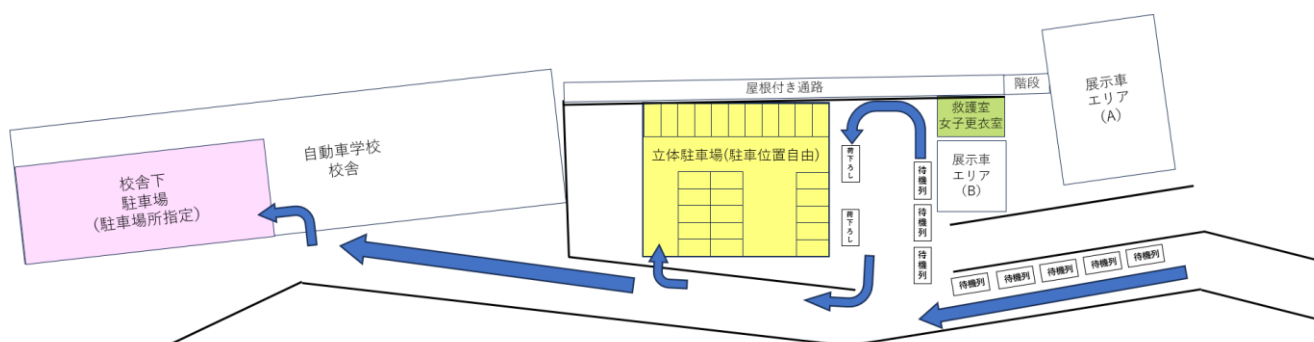
駐車場枠は2台/チームでご用意いたします。立体駐車場で1台、東急自動車学校建屋地下駐車場に1台の合計2台となります。以下、注意事項となります。

- ・パドック上の立体駐車場（駐車枠のいずれでも可）：1台
※立体駐車場につき、重量制限有2t以下
- ・自動車学校建物下駐車場（駐車券あり、駐車位置指定）：1台
- ・マイクロバスなど大型車利用の際は事前にサイズをご連絡下さい、駐車場所を調整いたします。



駐車エリア（立体駐車場の2F）の様子 ※ 重量制限（2 t）

当日は、次図のような動線にてドックエリア横で各チームが荷下ろしを順次行い、荷下ろし後は、各チームで立体駐車場と東急自動車学校建屋地下駐車場を利用してください。当日は荷下ろし等で渋滞が予想されるため、誘導員の指示にしたがい、ご協力をおねがいたします。



駐車場は2台/チームとなっております
・立体駐車場：1台（駐車位置自由）
・校舎下駐車場：1台（駐車位置指定）
事前に電子データでお渡しする駐車券を印刷し、明示下さい

車両などの『荷下ろし』のある乗用車は
立体駐車場前で荷下ろしして頂きます
大会スタッフの誘導に従い、整列&入場
お願いいたします

荷下ろしの無い乗用車は駐車場へお進み下さい

当日の動線

エコ1チャレンジカップ2026 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

チーム概要

長野県松本工業高等学校

01	チーム名	松本工業高校 原動機部 1		
	車名	松工 2026 1号		
車両仕様	全長×全幅×全高	1340×815×385 mm		
	フレーム	アルミニウム	ボディ材質	スチレンボード
	重量	23 kgf	ブレーキ	ディスク
	モーター	ブラシレス	制作費用	1,000,000 円
チーム概要	3年生10名、2年生9名、1年生17名の合計36名で活動しています。指導者は白澤敏弘先生（機械科 教諭）です。			
他大会への参加歴	HONDA エコマイレージチャレンジ2026			

豊島学院高等学校・昭和鉄道高等学校

02	チーム名	豊昭学園電気研究部		
	車名	Dyson's TYPE R		
車両仕様	全長×全幅×全高	2400×1000×600 mm		
	フレーム	アルミニウム	ボディ材質	発泡スチロール
	重量	25 kgf	ブレーキ	キャリパーブレーキ
	モーター	S123325-560R	制作費用	450,000 円
チーム概要	豊島学院高校と昭和鉄道高校の2校合同で活動しています。			
他大会への参加歴	NATS2022 参加			

東京都立多摩科学技術高等学校

03	チーム名	多摩科技無線工作部		
	車名	TS-Ten		
車両仕様	全長×全幅×全高	1550×541×947 mm		
	フレーム	鉄、アルミ	ボディ材質	鉄、アルミ
	重量	25 kgf	ブレーキ	キャリパーブレーキ、ローラーブレーキ
	モーター	ブラシレス	制作費用	100,000 円
チーム概要	電気自動車からアマチュア無線、地震予知まで行っている部活動です			
他大会への参加歴	なし			

エコ1 チャレンジカップ 2026 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

東京都立多摩科学技術高等学校

04	チーム名	多摩科技無線工作部		
	車名	TS-Sixteen		
車両仕様	全長×全幅×全高	1290×540×940 mm		
	フレーム	パイプフレーム、鉄	ボディ材質	アルミ、塩化ビニル
	重量	25 kgf	ブレーキ	F リムブレーキ、R バンドブレーキ
	モーター	ブラシレスモーター	制作費用	90,000 円
チーム概要	電気自動車からアマチュア無線、地震予知まで行っている部活動です			
他大会への参加歴				

和光学園和光中学校

05	チーム名	和光中学技術部		
	車名	和光電力 WW 改		
車両仕様	全長×全幅×全高	1430×440×880 mm		
	フレーム		ボディ材質	鉄
	重量	19.4 kgf	ブレーキ	サイドプル
	モーター	電動自転車より転用	制作費用	30,000 円
チーム概要	中学校の部活動（中学生単独チーム）			
他大会への参加歴	エネ1 GP			

長野県松本工業高等学校

06	チーム名	松本工業高校 原動機部 2		
	車名	松工 2026 2号		
車両仕様	全長×全幅×全高	1350×900×380 mm		
	フレーム	アルミニウム、鉄	ボディ材質	なし
	重量	24 kgf	ブレーキ	ディスク
	モーター	ブラシレス	制作費用	300,000 円
チーム概要	3年生10名、2年生9名、1年生17名の合計37名で活動しています。指導者は白澤敏弘先生（機械科 教諭）です。			
他大会への参加歴				

エコ1チャレンジカップ2026 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

東京都立総合工科高等学校

07	チーム名	チーム走攻		
	車名	WATANABE V-SPECⅢ		
車両仕様	全長×全幅×全高	1600×720×600 mm		
	フレーム	ラダーフレーム、アルミニウム	ボディ材質	アルミニウム
	重量	14 kgf	ブレーキ	F：ディスクブレーキ、R：キャリパーブレーキ
	モーター	WEM 24V 強力型	制作費用	80,000 円
チーム概要	部活の活動の中で車両を製作し参加しています。			
他大会への参加歴	2018 年より今大会に参加しています。			

東京都立八王子桑志高等学校

08	チーム名	八王子桑志高校 自動車研究同好会		
	車名	Kenick		
車両仕様	全長×全幅×全高	約 1600×約 730×約 500 mm		
	フレーム	鉄	ボディ材質	
	重量	約 20 kgf	ブレーキ	自転車用ブレーキ
	モーター	アウターローター	制作費用	約 150,000 円
チーム概要	前回大会出場などがないチームにはなりますが、これまで得た「力」を使い優勝させていただきます。車名の由来は、「乾坤一擲」からとらせていただきました。			
他大会への参加歴				

東京都市大学附属中学校・高等学校

09	チーム名	東京都市大附属中高自動車部		
	車名	ザマラーMk-3		
車両仕様	全長×全幅×全高	1650×850×400 mm		
	フレーム	パイプフレーム、スチール	ボディ材質	ポリカーボネート
	重量	9.6 kgf	ブレーキ	V ブレーキ
	モーター	ブラシモーター	制作費用	180,000 円
チーム概要	今年で創部 30 周年。今年も中 1・中 2 で参加します。			
他大会への参加歴				

エコ1 チャレンジカップ 2026 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

中央大学附属高等学校

10	チーム名	中央大学附属高等学校物理部		
	車名	CFK-R8		
車両仕様	全長×全幅×全高	1420×780×406 mm		
	フレーム	鋼管フレーム	ボディ材質	
	重量	20 kgf	ブレーキ	リムブレーキ
	モーター	ブラシレス DC モーター	制作費用	250,000 円
チーム概要	今年はモーターを手巻きしました。1 年生主体のチームで出場します。完走目指してがんばります。			
他大会への参加歴	Ene-1 MOTEGI GP 2022～2025			

都立府中工科高等学校

11	チーム名	都立府中工科高等学校自動車整備部		
	車名	FT26 チキン野郎		
車両仕様	全長×全幅×全高	2650×700×500 mm		
	フレーム	steel	ボディ材質	FRP
	重量	55 kgf	ブレーキ	ディスクブレーキ/カンチブレーキ
	モーター	ブラシモーター	制作費用	約 100,000 円
チーム概要	府中工科高等学校自動車整備部 1 年～3 年のチームです。初めてのレースに挑みます！			
他大会への参加歴	今回のチームでは参加なし			

東京都立八王子桑志高等学校

12	チーム名	八王子桑志高校 自動車研究同好会		
	車名	ティコ号		
車両仕様	全長×全幅×全高	約 1800×約 1000×約 500 mm		
	フレーム	鉄	ボディ材質	
	重量	約 30 kgf	ブレーキ	ディスクブレーキ
	モーター	DC モーター	制作費用	約 50,000 円
チーム概要	桑志高校の 2 台目の車です。前回大会の経験を活かし車をアップグレード。デザインも一新してシャチに変身して登場（車名はとある名作アニメが由来）。相棒「ティコ」と共に賞品はいただきます。			
他大会への参加歴	エコ1 チャレンジカップ 2025			

エコ1 チャレンジカップ 2026 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

青山学院中等部

1 3	チー ム 名	青山学院中等部・加賀山スピリッツ		
	車 名	走れ！メロンパン		
車 両 仕 様	全長×全幅×全高	1900×700×450 mm		
	フ レ ー ム	鉄	ボディ材質	プラスチック・ベニヤ板
	重 量	20 kgf	ブレーキ	リムブレーキ
	モ ー タ ー	ブラシレス DC モーター	制作費用	200,000 円
チー ム 概 要	青山学院中等部マイコン部			
他大会への参加歴	なし			

静岡雙葉高等学校

1 4	チー ム 名	静岡雙葉 STC		
	車 名	ニケ		
車 両 仕 様	全長×全幅×全高	1560×990（今後試走の結果で短くなる可能性あり）×690 mm		
	フ レ ー ム	アルミ	ボディ材質	アルミと木材
	重 量	25 kgf	ブレーキ	前後 ディスクブレーキ
	モ ー タ ー	ブラシレスモーター	制作費用	200,000 円
チー ム 概 要	今年で出場3回目になる高校生女子6名のチームです。総合学習だけでは足りない製作時間を休日や長期休みに捻出し、楽しみながら新たな車体開発に臨んでいます！			
他大会への参加歴	大阪エコデン全国大会			

ドルトン東京学園

1 5	チー ム 名	DaltonMartin		
	車 名	PloverDM6		
車 両 仕 様	全長×全幅×全高	1200×600×500 mm		
	フ レ ー ム	プラスチックパイプ	ボディ材質	
	重 量	14 kgf	ブレーキ	v ブレーキ
	モ ー タ ー	インホイールモーター	制作費用	120,000 円
チー ム 概 要	エコ1 参加3年目。今年は下位脱却だ！！とチームメンバー全員で意気込んで車両を制作しました。自分たちの持っている技術を最大限活用して、優勝を目指します。			
他大会への参加歴				

エコ1 チャレンジカップ 2026 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

東京都市大学等々力中学校・高等学校

16	チーム名	等々力理科部技術班		
	車名	TSUBASAVII		
車両仕様	全長×全幅×全高	1850×850×600 mm		
	フレーム	スチール、アルミ	ボディ材質	プラスチックダンボール
	重量	25～30 kgf	ブレーキ	Vブレーキ
	モーター	DC ブラシレスモーター	制作費用	35,000 円
チーム概要	今年から新入部員も加わり、今まで通りマイペースながら、より楽しく活気づいたチーム活動をしています。 チームとしてはまだ 30 分以内での完走を果たしたことがないので、今年こそは 30 分以内の完走を目指して頑張ります！			
他大会への参加歴	なし			

和光学園和光中学校

17	チーム名	和光中学技術部		
	車名	和光電力 3 号改		
車両仕様	全長×全幅×全高	1680×710×1010 mm		
	フレーム	鉄	ボディ材質	木材
	重量	25 kgf	ブレーキ	サイドプル
	モーター	インホイールモーター	制作費用	30,000 円
チーム概要	中学校の部活			
他大会への参加歴	エネ 1 GP			

川崎市立川崎総合科学高等学校

18	チーム名	川崎総合科学高校		
	車名	アソパソマソ号		
車両仕様	全長×全幅×全高	1700×700×600 mm		
	フレーム	アルミ（フレーム材）	ボディ材質	FRP（制作予定）
	重量	20 kgf（予定）	ブレーキ	機械式ディスクブレーキ 2 連（後輪）
	モーター	ブラシレスモーター	制作費用	60,000 円
チーム概要	私たちは、川崎総合科学高校のテクノクラフト部に所属しています。日々ゆるく、適当に活動 をしながら電気自動車製作に励んでいます。			
他大会への参加歴				

エコ1 チャレンジカップ 2026 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

千葉日本大学第一中学校、高等学校

19	チーム名	千葉日物理部		
	車名	CNU racer		
車両仕様	全長×全幅×全高	1230×580×800 mm		
	フレーム	鉄	ボディ材質	
	重量		ブレーキ	リムブレーキ
	モーター	インホイールモーター	制作費用	50,000 円
チーム概要	私達、チバニチ物理部は①バッテリーカー ②宇宙エレベーター ③ロボット の3つに取り組んでいます。昨年は新型機で挑みましたが、完走することができませんでした。今年ことは完走・上位入賞をめざします！			
他大会への参加歴				

土浦日本大学中等教育学校

20	チーム名	土浦日大中等 OATA		
	車名	PAPPY 号		
車両仕様	全長×全幅×全高	××mm		
	フレーム		ボディ材質	
	重量	kgf	ブレーキ	
	モーター		制作費用	円
チーム概要	中1 から高1 までのチームです。チームワーク良く頑張ります			
他大会への参加歴	エネ 1GP MOTEGI			

東大寺学園中・高等学校

21	チーム名	東大寺学園自動車研究会		
	車名	TEV-1'		
車両仕様	全長×全幅×全高	1280×920×750 mm		
	フレーム	鋼製アングル	ボディ材質	木材
	重量	21 kgf	ブレーキ	リヤドラムブレーキ
	モーター	10 インチ 350W インホイール	制作費用	30,000 円（基本は去年から使い回し）
チーム概要	今年で2 回目の参加です。ノウハウ不足ではありますが、出来る限り改良して頑張ります！			
他大会への参加歴	エコ1 チャレンジカップ 2025			

静岡雙葉中学校

2 2	チー ム 名	静岡雙葉 JSTC		
	車 名	みにたいやき		
車 両 仕 様	全長×全幅×全高	1600×720×580 mm		
	フ レ ー ム	アルミ	ボディ材質	ポリカーボネート
	重 量	23 kgf	ブレーキ	後輪 V ブレーキ 2 系統
	モ ー タ ー	ブラシレスモーター	制作費用	15,000 円
チー ム 概 要	これまで高校生チームのサポート隊として活動してきましたが、今年から中学生女子 6 名のチームとして独立しました！			
他大会への参加歴	大阪エコデン全国大会			

実施規定 [Regulations]

〈 第 1 章 総則 〉

大会のすべての参加者は、本規定を理解した上、これを遵守することに同意するものとする。

第 1 条 大会趣旨

本大会は、以下を目的とする。

- (1) ものづくりの楽しさと重要性の認識
- (2) 環境とエネルギー問題の認識と体験
- (3) 創造性に富む人材の育成

すなわち、電気エネルギーを効率的に活用し、自動車の基本性能である走る・曲がる・止まるを競いながら、エネルギーの尊さと技術の重要性を、楽しみながら体験することを目的とした競技大会である。

第 2 条 プログラム

2026 年 8 月 22 日（土）

9:00	開門
11:15	開会式・ドライバーズミーティング
11:30	競技
14:00	技術交流会
15:15	表彰式
16:30	閉門

第 3 条 大会の名称

エコ 1 チャレンジカップ 2026 〜中・高校生による手作り電気自動車コンテスト〜
以下「本大会」と称する。

第 4 条 共催団体

自動車技術会 関東支部、東京都市大学、日産自動車株式会社

第 5 条 開催場所

本大会は学校法人五島育英会東急自動車学校（東京都多摩市唐木田 3-6）において開催する。

第 6 条 後援

文部科学省、公益社団法人日本材料学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人電気学会

第 7 条 協賛（予定）

東急自動車学校、株式会社東京アールアンドデー、日野自動車株式会社、株式会社ピューズ、東京都市大学
校友会

第 8 条 プロモート

本大会のプロモーションは「エコ 1 チャレンジカップ実行委員会」（以下「実行委員会」という。）
が行う。

第 9 条 大会構成員

本大会は、会長、副会長、役員及び実行委員会委員により構成される。

第 10 条 事務局の連絡先

東京都世田谷区玉堤 1-28-1
エコ 1 チャレンジカップ 2026 事務局 担当：杉町（東京都市大学 理工学部 機械工学科）
TEL 03-5707-0104(内線:2619) FAX 03-3704-7675
e-mail: eco1chal@tcu.ac.jp

第 11 条 規定の改正

実行委員会は、本規定を改正することができる。

第12条 規定の解釈

本規定に定められていない事項あるいは明記されていない事項については、実行委員会が最終的な決定を下すものとする。

第13条 異議申立て

- 1 大会中に異議申立てを行う場合には、異議申立ての対象となる事態の発生から30分以内に、書面にて競技本部に提出しなければならない。安全上のペナルティに関する異議申し立てには一切応じない。
- 2 異議申立てを行う事のできるのは、各チームの代表者に限る。

第14条 ブリーフィングとドライバーズミーティング

チームの代表者は、事前に配布されるブリーフィング資料を熟読しなければならない。チーム代表者及びドライバーは、当日のドライバーズミーティングに参加しなければならない。

第15条 競技車両の識別

各チームにゼッケンナンバーを割り当てる。

〈第2章 エントリー〉

本大会の参加資格は、原則として中学生及び高校生のチームとする。

第16条 参加申し込み

- 1 参加チームはまず応募を行い、応募の受付は、2026年5月29日（金）迄とする。
- 2 登録の受付は2026年7月3日（金）迄とし、応募内容に変更がある場合は登録時に訂正する。
- 3 大会実行委員会の承認により、大学生及び一般チームに参加させる場合がある。
- 4 未成年チームは保護者あるいは教員などの成人責任者の同行を必要とする。
- 5 未成年の参加者は、保護者の承諾を必要とする。
- 6 小学生以下の参加者はドライバーとなることができない。
- 7 チーム代表者は、車検の時刻までに登録メンバーに限り、ドライバーの変更が出来る。
- 8 大学生及び一般チームは参考出走とし、順位には含めないものとする。
- 9 高等専門学校のチームはメンバーの主体を3年生以下とし、ドライバーが3年生以下の場合のみ高校生チームと同等とみなす。
- 10 参加台数が多数の際は、1校あたり1台とする場合がある。

第17条 エントリーフィー

1団体（出走1台）につき ¥20,000

第18条 事故・損失

すべての参加者は、事故、損失により傷害・損害が生じた場合、自己の責任において一切の処理を行わなければならない。主催者及び大会役員、コース施設管理者は一切の損害補償の責任を免除されていることを承知していなければならない。

〈第3章 競技概要〉

この競技は与えられたエネルギーを自動車の基本性能を満足させながらいかに効率よく走行するかを競うもので、創意工夫、知的挑戦の競技である。

第19条 コース

東急自動車学校（4輪教習コース）を使って行われる。

第20条 競技方法

各チームは、規定により定められた性能、個数のバッテリーを用い、それぞれの性能に合わせた走行計画のもと、以下の競技を実施し、総合優勝を競うものとする。

- (1) スラロームコースをいかに早く安定走行できるか。
- (2) デザイン性。特に独創性と先進性（低コスト・高機能・材料置換・構造・エコ）を評価する。
- (3) 安全性、車両が暴走しないための防止装置を評価する。

第21条 試走

当日の車検に合格した車両は、指定された時間内で試走を行うことができる。試走で用いるバッテリーは競技で使用する仕様と同等とする。

第22条 スタート

各チームは、競技担当者の指示に従いスタートする。

第23条 競技の終了

規定の10周回後または走行時間内（最大30分を予定）に走行終了する。

第24条 走行

- 1 定められたコースを走行する。
- 2 危険が生じた場合は、ベルまたはクラクションで周囲に注意喚起をする。
- 3 すべての競技者は、競技中に緊急車両などがコース内を走行することを承知していなければならない。
- 4 競技中止、走行不能となった場合は、コース外に移動されることを承知していなければならない。

第25条 成績

10周回完走した場合は、10周回の走行時間が短い方を上位とする。
10周回に満たない場合は、規定時間内の周回数が多いチームを上位とする。
同一周回数の場合は、走行時間が短い方を上位とする。
ペナルティがある場合は、減点後の成績を採用する。

第26条 信号旗

競技中、以下の旗を信号旗として使用する。

- (1) 赤色旗 : 競技終了または競技中止
- (2) 黄色旗 : 走行注意
- (3) 青色旗 : 後続車有り注意

〈第4章 車両規則〉

第27条 シャーシ・ボデー

- 1 競技車両のデザイン及び構造は、以下の各号を除き自由である。
- 2 車両構造: 常時3輪以上が接地し、ドライバーが乗車状態（足などを地面に付けない走行時と同様の乗車姿勢）で静止時に自立が出来る構造であること。また、走行時に車体が傾斜する構造になっているものは最大傾斜の状態でもその状態（自立出来る）が保たれていること。
アシストサイクルなどの市販車両での参加は認めない。
- 3 車両サイズ: 競技車両は全長3.0m、全幅1.2m、全高1.6m以内とする。
- 4 ブレーキ: ドライバーが乗車した状態で5%の勾配程度の路面上で静止可能とし、独立した2系統のブレーキを装備することが望ましい。
- 5 回転半径は6m以下とする。なお、コーナーなどを曲がりきれない場合は、コースマーシャルなどが補助する場合がある。その場合はペナルティを科す場合がある。

第28条 モーター

特に制限はしない。

第29条 バッテリー

- 1 実行委員会が大会前に送付する市販の容量（公称）は12V-3Ah以下のバッテリー2個とする。
- 2 バッテリーの電解液の硫酸濃度は、市販のもの（充電時の電解液比重1.32）より変更してはならない。
- 3 スタート後の充電、バッテリー交換は認めない。
- 4 競技走行時は送付されたバッテリーを使用すること。

第30条 コンデンサー及びキャパシタ

コンデンサーやキャパシタを使用する場合は、スタート前に電荷がゼロであることを証明しなければならない。
また、ゴムなどの物理的な補助装置を用いる場合はスタート前にエネルギーを蓄えてはいけない。

第31条 電装及び他のエネルギー源

- 1 人力を含め走行の補助となる機構、装備は認めない。
- 2 所定のバッテリー以外の電源を用いた電気回路を、走行用の電気回路に接続してはならない。

第32条 安全性

- 1 競技車両の外側及びコックピット内に危険につながると思われる不要な突起物があってはならない。
- 2 ドライバーが容易に自力で車外へ脱出できる構造であること。
- 3 安全な走行が出来る視界を確保し、後方確認用に2個以上のバックミラーを装備すること。
- 4 警音器（ベルまたはクラクションなど）を装備すること。
- 5 高速回転体（チェーン、スプロケット、ギヤーなど）には十分な強度のある保護カバーを施すこと。
- 6 バッテリーは容易に脱落しないように車体に固定し、端子や配線はショートしないように絶縁保護対策を施すこと。競技開始時におけるバッテリーの固定方法、絶縁保護については、車検完了時と同じ状態にすること。
注意：バッテリー搭載位置については、雨天時に感電の恐れがないように配慮すること。
- 7 ドライバーはオートバイ用ヘルメット（ジェット型またはフルフェイス）と肌の露出の無い服装（長そで、長ズボン、グローブ、シューズ）を着用すること。
- 8 緊急時には車外から電源が切れるなど、車両が暴走しない仕組みがあることが望ましい。

第33条 車両検査

- 1 競技に参加する全ての車両は、本大会当日の競技開始前に行われる公式車両検査を受けなければならない。
- 2 車両検査の方法に関しては別に定める。

第34条 競技番号（ゼッケン）及び大会ステッカー

参加車両は主催者が支給するゼッケン（A5版）2枚のうち、左右両側面の確認し易い場所に貼付しなければならない。

〈 第5章 その他 〉

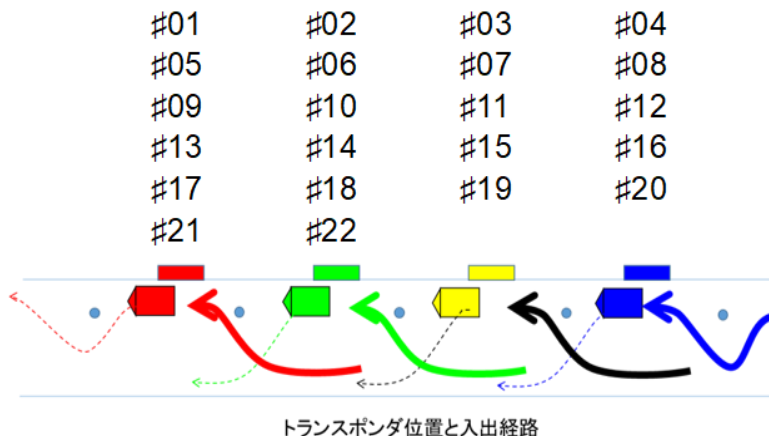
第35条 失格

実行委員会競技本部の指示に従わなかった場合、あるいは実行委員会競技本部が悪質なマナーと判断した場合は失格とする。

競 技 補 足

——「競技補足」は一部追加変更する場合があります。大会直前に改めてご案内しますので、ご確認下さい。

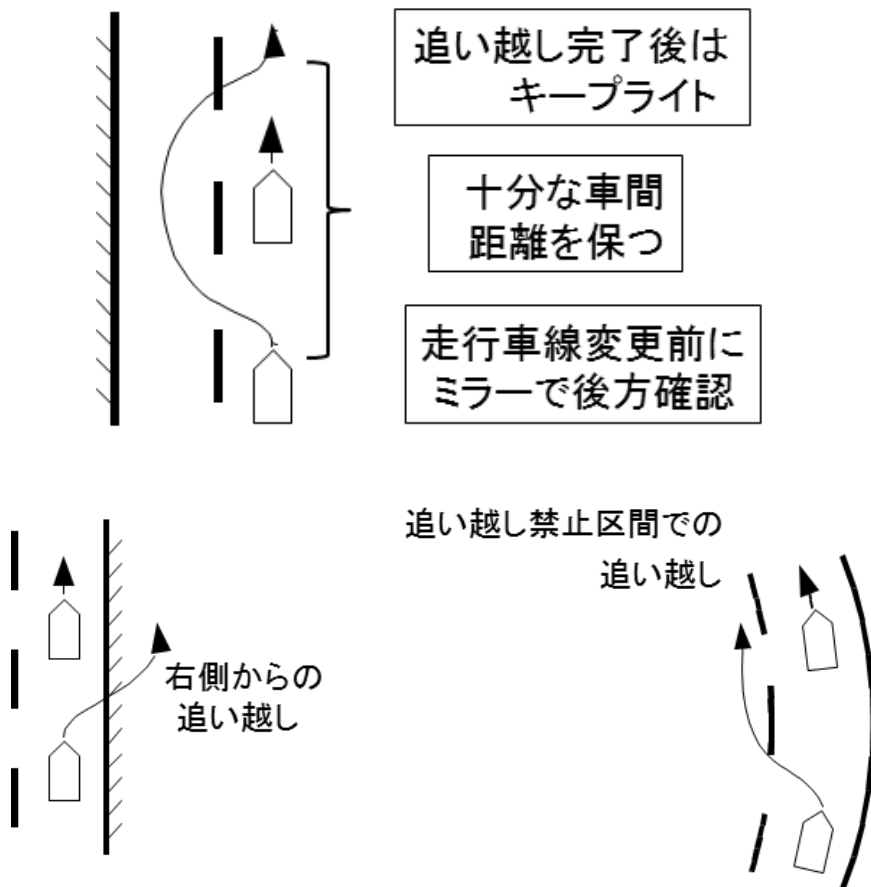
- (1) バッテリーは、12V-3Ah 以下のバッテリー2 個(予定)を、実行委員会より大会前に送付します。競技直前の充電は認めますが、競技開始後の充電は認めません。充電も含め、管理は各チームに任せますが、バッテリー液の硫酸濃度は市販のものより変更しないで下さい。また、会場には各チーム用の電源は用意しませんので各自充電器具をご用意下さい。
- (2) 当日、受け付け時に車検記録表とゼッケン (2 枚) をお渡しします。ゼッケンは車検までに車両の左右両側面の見えやすい位置に貼付して下さい。競技は1 周につき1 回のドライバーの交替を行います (1 人が連続して2 周運転することはできません)。
- (3) スタートは基本的に1 台毎に行いますが、競技運営上コース上に複数台が走行します。スタートとゴールの計測はトランスポンダを使用します。スタートできない場合でも指定時刻にスタートしたものとして取り扱います。
- (4) スタート時は、ドライバーがトランスポンダをタッチしてスタートしてください。周回後は、周回したドライバーがトランスポンダをタッチしてドライバー交替を行ってください。ゴールの時も、周回したドライバーがトランスポンダをタッチして走行を終了してください。
- (5) ドライバー交替は指定した位置で行って下さい。コース内に立ち入って良いドライバーは1 名のみを認めます。ただし、ドライバー交替に支障がある場合はドライバー以外の1 名の補助を認めます。上記以外はコースに入らないようにお願いします。競技本部から指示があった場合はそれに従って下さい。
- (6) 周回後、コース上から自車のピット停止位置に進入する際、手前の他車のトランスポンダ前を通過しての進入やピットアウト時に前方の他車のトランスポンダ前を通過してピットアウトした場合、また、停止位置をオーバーして隣の停止位置(車両)の妨げになるようなオーバーシュートをした場合は、コースマーシャルの判断でペナルティを科す場合があります。
なお、ピットイン・アウトはピットインの車両を優先とし、ピットアウトする車両は後方の安全確認を十分に行い、発進して下さい。接触があった場合にはピットアウト側のチームにペナルティ (3 分) を科します。



赤レーン	緑レーン	黄レーン	青レーン
#01 松本工業A	#02 豊昭学園	#03 多摩科技A	#04 多摩科技B
#05 和光学園A	#06 松本工業B	#07 総合工科	#08 八王子桑志A
#09 都市大付属	#10 中央大付属	#11 府中工科	#12 八王子桑志B
#13 青山学院中	#14 静岡雙葉高	#15 ドルトン東京	#16 都市大等々力
#17 和光学園B	#18 川崎総合科学	#19 千葉日大付属	#20 土浦日大中
#21 東大寺学園	#22 静岡雙葉中		

- (7) トランスポンダにタッチする際、自車のトランスポンダ以外の他車のトランスポンダにタッチした場合でもタイムは計測されますが、ペナルティ (20 秒) を科します。

- (8) 走行中に追い越しをする車両は、相手の車との車間距離を十分に保ちながら、バックミラーで後方の安全を確認した上で、走行ラインを左に変更して下さい。原則として相手の左側から追い越すようにして下さい。危険な追い越しと判断された場合は競技中止を含めたペナルティを科します。追い越しを完了したら、後方の確認を行った上で走行ラインを元の右側に戻して下さい。



- (9) 走行中に追い越される車両は、現状の自然な走行レーンを追い越しようとする車両の走行を塞ぐ(妨害)ように、故意的に危険を伴うような挙動を禁止します。コースマーシャルが危険と判断した場合にはペナルティを科します。
- (10) ペナルティが科せられる可能性があるチームに対しては、ペナルティの内容について、時々刻々にチームへ報告します。
- 報告方法は、競技本部ホワイトボードなどに必要に応じ掲示します。なお、競技中はペナルティは決定ではなく審議中とします。事項の発生後、実施規定第13条による所定の異議申し立てがなかった場合は、審議の結果によりペナルティを科し、それをもって順位を決定します。
- コースマーシャルの目が行き届かない場合にチーム側からの違反行為の申告やペナルティなどへのクレームも必ず書面にて提出して下さい。それ以外の方法でのクレーム等は認めません。
- (11) ゴールする車両はコース上の停止エリアで安全に停止し、停止エリアから離れた(数m)トランスポンダにタッチして下さい。車両が動いている状態でのドライバーの乗降は危険行為とみなし、競技中止を含めたペナルティを科します。
- (12) 競技本部の記録はトランスポンダからの信号を使用します。
- (13) マシントラブル等で規定時間を過ぎた場合はその時点で競技を中止します。修理についてはドライバー自身が実施する場合は認めます。
- ① スタートから15分経過した時点で1周回終了していない。
 - ② スタートから25分経過した時点で2周回終了していない。
 - ③ スタートから30分経過している。
- (14) 競技本部が危険運転とみなし警告を受け容れない車両は、状況により1秒増から競技中止までのペナルティを科す場合があります。危険運転は主にコースアウト、ガードレールなど構造物への接触、転倒を示します。

- (15) 自走出来ない場合は人力（ドライバーが押す）で移動させることを認めますが、ペナルティとして 60 秒を加えます。例えば、途中で自走できなくなり、その後ドライバーが車両を押してゴールした場合、ゴール後、トランスポンダにタッチして計測された総時間に 60 秒/周を加えます。

走行時間 = 自走時間（10 周目途中まで） + 手押し時間（ゴールまで） + ペナルティ 60 秒

なお、9 周以下の周回数で自走できなくなった場合は、さらに 3 分/周を加えることがあります。

走行時間 = 自走時間（9 周目途中まで） + 手押し時間（ゴールまで） + ペナルティ 60 秒 + 3 分

- (16) 車両の暴走防止に一定の効果が認められる安全装置について、次の各号に定める条件を満たした場合は、走行の合計タイムから最大 60 秒を減算する。

① 2026 年 7 月 3 日（金）までに安全装置の仕様を実行委員会へ登録し、実行委員会がその内容を受理した場合：20 秒を減算する

② 前号の登録を行った安全装置について、大会当日の車両検査において、登録された仕様どおりに車両へ実装され、正常に作動することが確認された場合：40 秒を減算する

なお、第 2 号の減算は、第 1 号の条件を満たした車両に限り適用する。

- (17) コース上では停止しないで下さい。コースマーシャルの指示に従い必ずコース外に停車して下さい。

- (18) コースマーシャルを含め、全てボランティアによる手作り競技ですのでご協力をお願いします。

- (19) 当日は記録取材を行います。大会終了後は実施結果や写真などを報告書や Web ページ等で公開します。雑誌等の取材に応じた場合も、断りなく写真などを掲載させていただきますので、予めご了承下さい。

- (20) 大会当日、地震の発生や竜巻・雷雨などの天候不順などの際、大会の中止・中断、建屋への緊急退避などを競技本部で決定する場合があります。また、チームリーダーはチーム全体、また参加者個人の責任の元に行動することをご了承下さい。

参考：電気自動車作成例

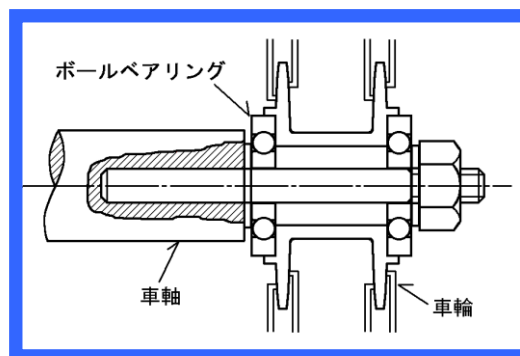
1. シャーシ

木の板（コンパネ）を車の形に切り取ります。
三脚を使うのも一案。



2. 前輪

シャーシの板に丸棒（金属製）を立てます。
車体前部の重量が全てかかるので棒は太いものを用います。
車軸に車輪（折りたたみ自転車や車椅子の車輪を利用）を取り付けます。

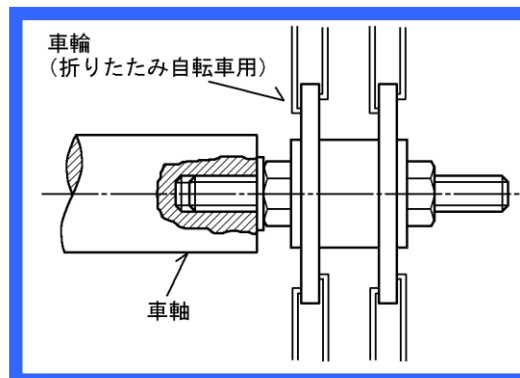


▲前輪取り付け部の例

より簡単な前輪取り付けの例▼

3. 後輪・動力部

シャーシに後輪用の穴をあけます。
折りたたみ自転車の後輪に、スプロケットを新たに
取り付けます。
それをチェーンでモーター側のスプロケットとつなぎます。
モーターはシャーシの板にボルト留めし、
金属板を加工したハブで後輪をシャーシに取り付けます。
ブレーキは自転車のものをそのまま使います。



モーターやスプロケットのメーカー
（特殊電装、澤村電気、椿本スプロケットなど）
については、各 Web ページをご検索下さい。



前輪を車軸に片方だけ
取り付けたところ



前輪の車軸取り付け部

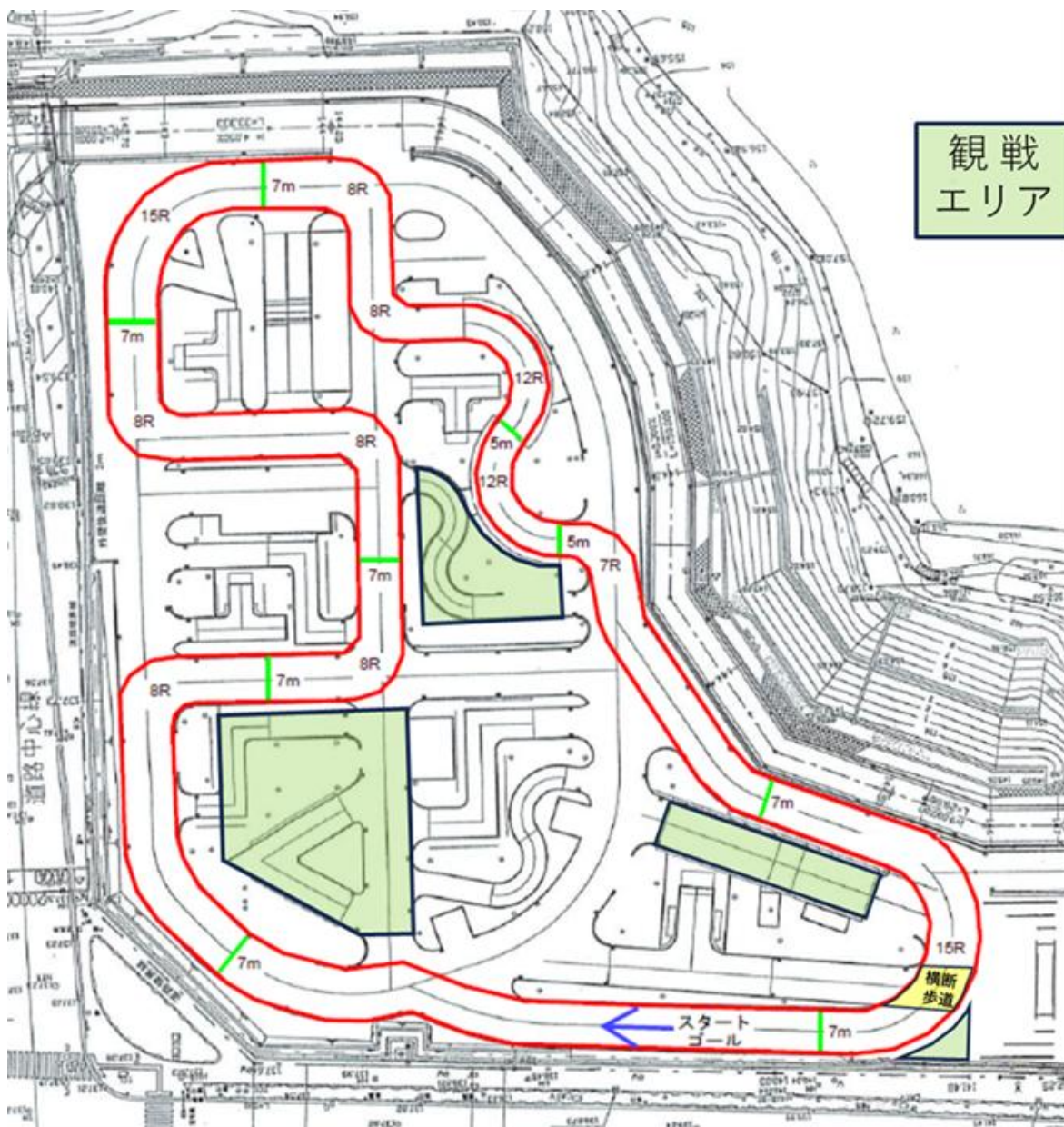


取り付け前に、とりあえずモーターや後輪を
並べてみたところ

走行コース・観戦エリア

東急自動車学校の4輪コースを使用する。

指定のエリア（観戦エリア内）において走行の観戦ができるがピットエリアの入場は競技者のみとする。



＜競技者以外の観戦される方＞

観戦エリアにて観戦をお願いいたします

数多くの皆様のご来場をお待ちしております



注意

スタート・ゴール地点手前の最終コーナーに速度抑制のためにシケインをもうけることとしました。具体的にはコース内にコーンを設置し幅員を絞り、さらにS字に蛇行して走行させる事により速度を減少させます。

また、この区間はスタート・ゴール地点およびS字カーブ地点に加え追い越し禁止区間とします。

エコ1チャレンジカップ2026 大会会場

東京都多摩市唐木田 3-6

東急自動車学校

小田急線「唐木田」駅より

シャトルバス 約8分、徒歩 約20分

京王線「京王堀之内」駅より

徒歩約20分

※ お車でのご来場はご遠慮下さい。

——東急自動車学校 Web ページより抜粋



エコ1チャレンジカップ2026 シャトルバス時刻表

大会当日(8月22日)は、下記のとおり、唐木田駅と東急自動車学校間をシャトルバスが運行しますので、ご利用ください。なお、定員を超える場合はご乗車になれませんので、ご了承ください。

唐木田駅→東急自動車学校

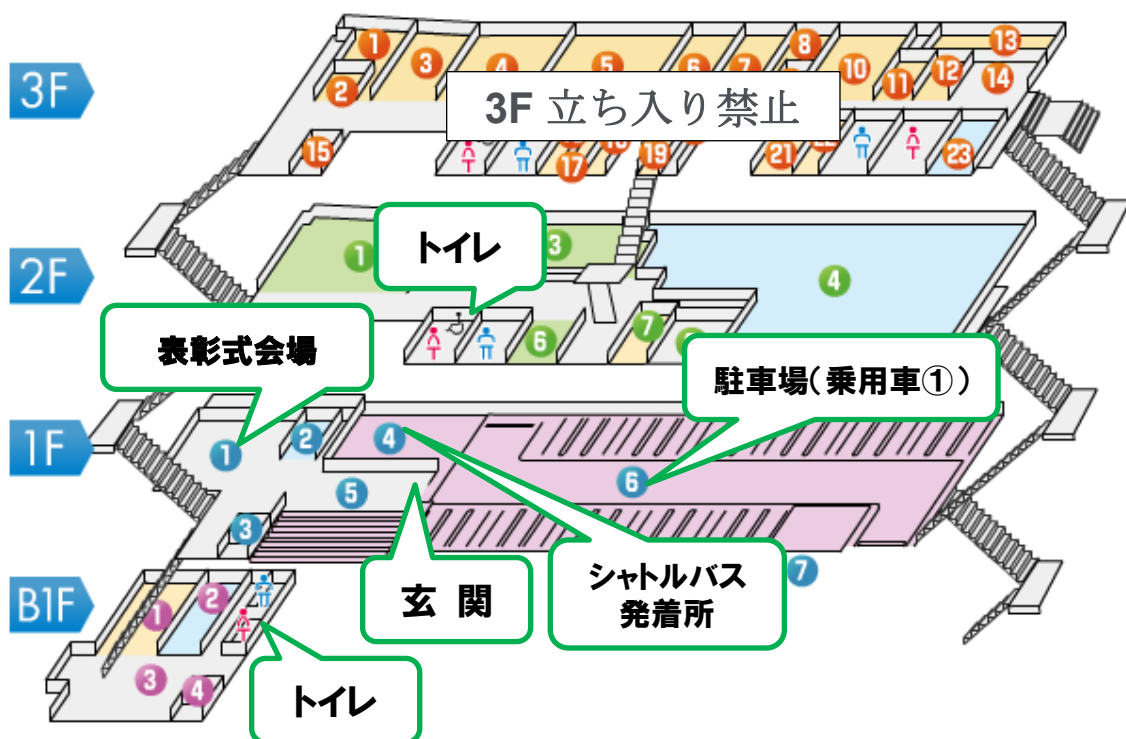
8			4 2
9	0 2	2 2	4 1
1 0			
1 1	0 6	1 6	

東急自動車学校→唐木田駅

1 6	1 0 (2 便)	4 0 (2 便)
1 7	0 0 (2 便)	



エコ1 チャレンジカップ 2026 施設等のご案内



※ 参加者の受付は、コース内の「競技本部」で行います。

※ 施設内には自販機のみでコンビニはありません。隣のショッピングセンターをご利用ください。

※ ゴミ類は必ず持ち帰り、施設内のゴミ箱の利用はご遠慮ください。

※ 炎天下における競技となる可能性があります。各チーム熱中症対策をとる様にしてしてください。